

注意！

■この記事は発行年月日時点の内容のまま公開していますので、ご覧になった時点の法規制(農業使用基準等)等に適合しなくなった内容を含む可能性がありますから、利用にあたってはご注意ください。

農作物技術情報

第6号

果樹

発行日 平成25年 8月29日
発行 岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部
編集 中央農業改良普及センター 県域普及グループ (電話 0197-68-4436)

携帯電話用QRコード



「いわてアグリベンチャーネット」からご覧になれます
パソコンからは「<http://i-agri.net>」 携帯電話からは「<http://i-agri.net/agri/i/>」

- ◆ りんご 肥大は平年並みまで回復！早生種の適期収穫・すぐりもぎの徹底を！！
- ◆ ぶどう 品種特性が発揮される適期収穫を！！

りんご

1 生育状況

(1) 果実肥大

定点観測地点(表1)の果実肥大(横径)を県平均でみると、いずれの品種も概ね平年並みとなっています。本年は開花が遅れたため、果実肥大調査が始まった6月は平年の60%程度でしたが、乾燥や日照不足、長雨等天候不順の中、摘果が進んだことにより、平年並みまで回復しました。一方、8月に入り気温が高めで推移したことから果実肥大はやや停滞気味です。中晩生種は見直し摘果を実施しましょう。

(2) 果実品質

定点観測地点の「つがる」の果実品質を県平均でみると、硬度及びデンプン指数は平年並み～やや高め(図1、3)、糖度は平年並み(図2)となっています。しかし、地域的なバラツキが見られ、県南部では硬度が低下している地域も見られます。

開花は遅れましたが、これまでの果実品質の状況から収穫期が極端に遅れる可能性は少ないと考えられます。また、昨年は9月までの猛暑の影響により、着色が遅れ、収穫が遅くなった地域も見られました。長期予報によると収穫期の気温は平年並みから高くなる見込みであり、果肉先行で熟期が進む可能性があります。適期の着色管理並びに適期収穫に努めましょう。

表1 りんごの果実肥大状況

(単位:mm)

8月21日時点の生育状況	つがる					ジョナゴールド					ふじ				
	本年(H25)	前年(H24)	平年	前年比(%)	平年比(%)	本年(H25)	前年(H24)	平年	前年比(%)	平年比(%)	本年(H25)	前年(H24)	平年	前年比(%)	平年比(%)
岩手町	79.1	80.0	80.4	99	98	75.2	78.8	79.1	95	95	72.8	73.3	71.8	99	101
盛岡市	77.0	75.0	80.2	103	96	72.5	77.3	78.5	94	92	69.3	75.3	72.8	92	95
紫波町	75.6	78.8	84.2	96	90	70.5	73.3	79.7	96	88	73.8	79.3	74.7	93	99
花巻市	85.5	89.4	81.3	96	105	79.3	78.0	80.1	102	99	74.6	75.4	71.6	99	104
農研センター	82.9	85.1	82.7	97	100	77.2	76.7	79.9	101	97	74.0	74.7	73.6	99	101
北上市	-	-	-	-	-	82.0	84.2	82.6	97	99	77.4	79.3	77.0	98	101
奥州市前沢区	86.3	80.9	83.2	107	104	76.7	79.1	78.9	97	97	76.5	74.1	75.1	103	102
奥州市江刺区	75.7	80.0	80.1	95	95	76.0	77.3	79.6	98	95	65.2	67.4	70.7	97	92
一関市花泉町	93.0	89.4	82.4	104	113	80.3	80.8	78.8	99	102	68.2	70.7	71.2	96	96
一関市大東町	-	-	-	-	-	77.0	80.0	77.1	96	100	73.0	70.7	73.2	103	100
陸前高田市	75.2	81.9	82.7	92	91	80.9	76.2	77.3	106	105	68.9	68.8	71.7	100	96
宮古市	79.3	81.1	80.2	98	99	80.9	83.0	80.4	97	101	75.0	73.4	74.0	102	101
岩泉町	75.0	72.1	80.9	104	93	80.1	80.1	75.7	100	106	71.7	71.0	72.4	101	99
洋野町大野	75.5	84.4	78.2	89	97	72.0	77.2	77.2	93	93	69.0	76.3	69.9	90	99
軽米町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	68.2	70.0	68.9	97	99
二戸市	79.7	84.2	81.1	95	98	73.7	75.5	79.5	98	93	74.2	73.6	73.3	101	101
県平均(参考)	79.7	81.4	81.2	98	98	76.9	78.6	78.9	98	98	71.9	73.2	72.6	98	99

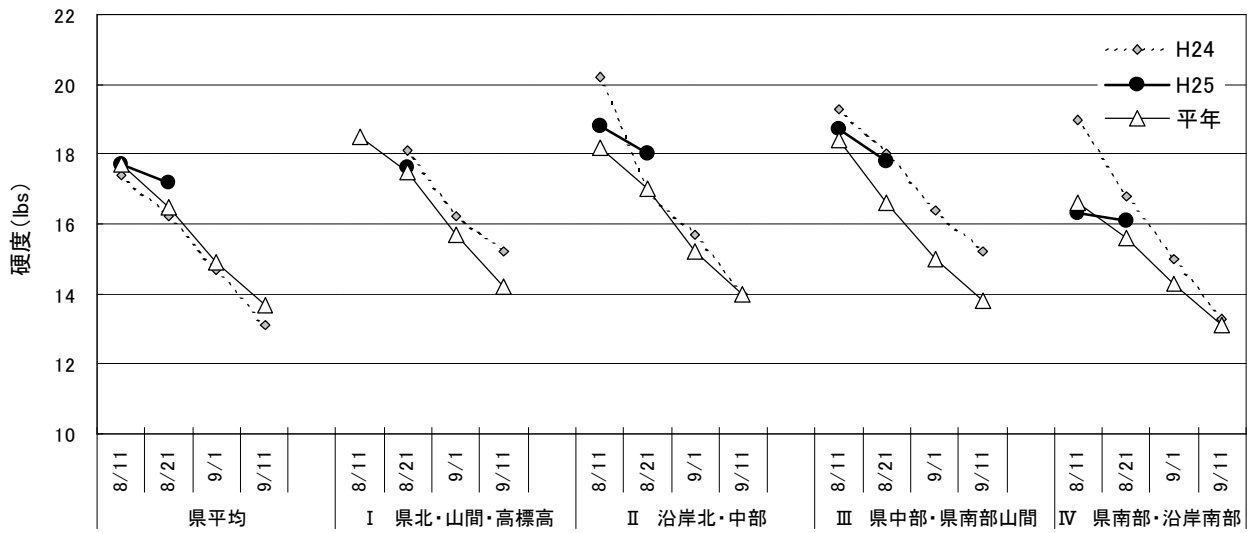


図1 つがるの硬度の経時変化

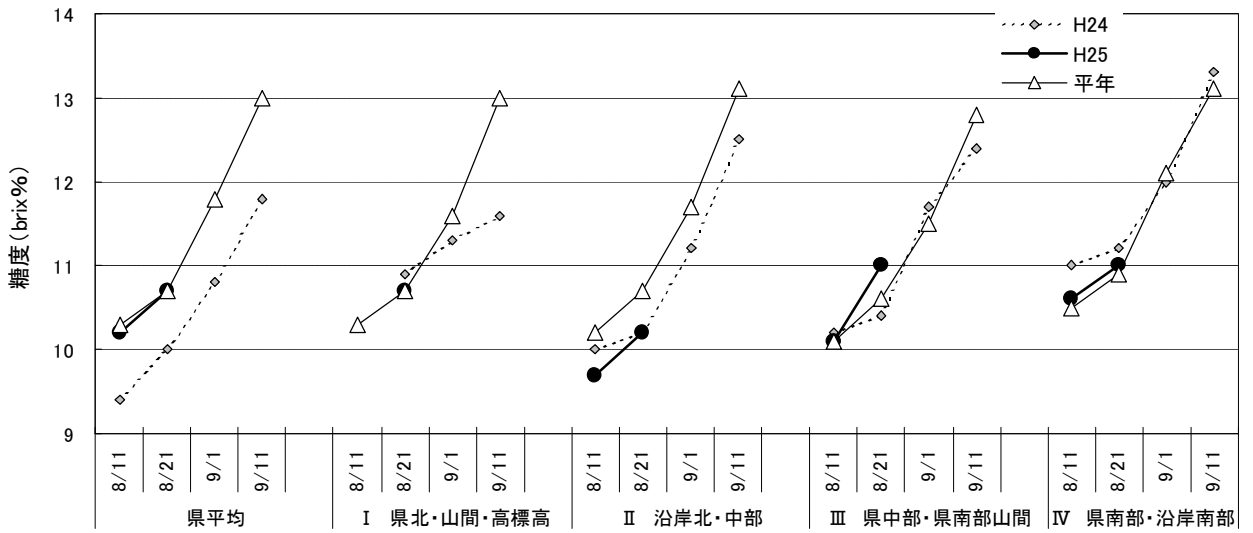


図2 つがるの糖度の経時変化

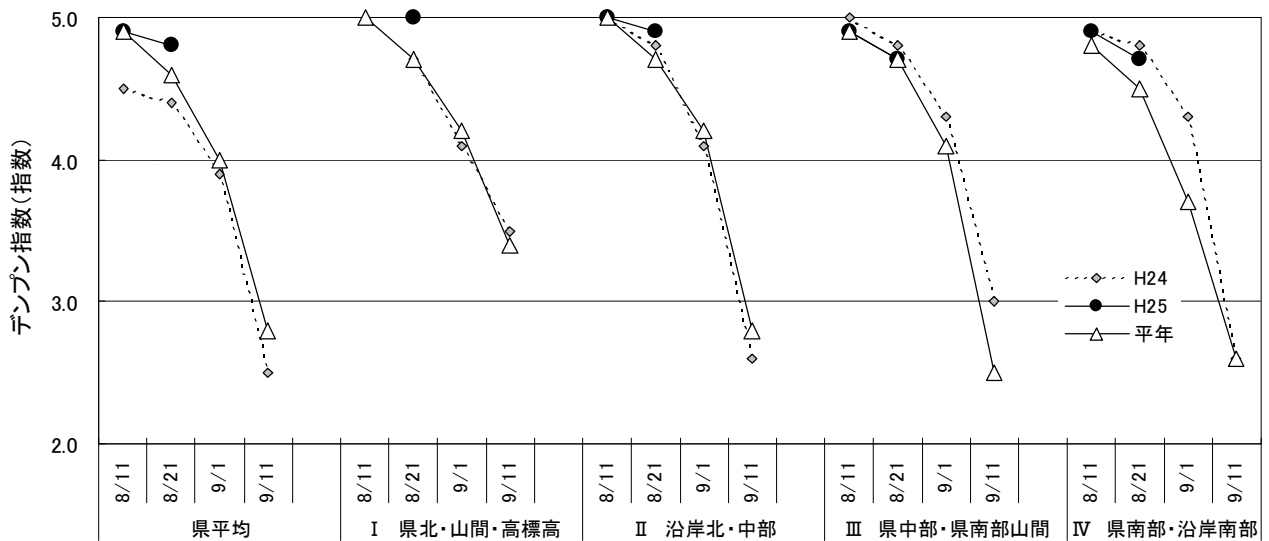


図3 つがるのデンプン指数の経時変化

2 管理作業

(1) 早生種の着色管理

- ア 「さんさ」、「つがる」について作業を実施します。
- イ 1回目の軽い葉摘み終了後、陽光面の着色が進んでから、葉や枝カゲをつくらないように玉回しを収穫まで2～3回行います。玉まわしと同時に適当な強さに葉を摘みます。しかし、果皮に急に直射日光が当たると日焼けが発生しますので、徐々に葉摘みを進めましょう。
- ウ りんごの着色適温は10～20℃です。気温の高い日が続くと、必要以上に葉摘みを強くしても着色は進まないため、過度の葉摘みとならないよう注意します。

(2) 収穫 (表2参照)

- ア すぐりもぎが基本です。特に熟期が不揃いな「つがる」や「きおう」は徹底しましょう。
- イ 「きおう」は、ツル浮き (内部裂果) が発生しやすく、これは正常果よりも早く熟しますので、特に収穫前半はツル浮き果が混入しないよう注意してください。本年は降水量が多く、ツル浮きの発生が多くなる可能性がありますので、特に注意が必要です。
- ウ 「つがる」は、収穫後の果肉の軟化が早く、また、収穫が遅れると果面に油上がりが発生しやすいので、地色に注意して遅取りを避け、収穫後はできるだけ早めに予冷しましょう。
- エ 落果防止剤にストッポール液剤を散布した場合は、散布日から7日以上開けて収穫します。

表2 早生種の収穫期の目安

品種	満開日 起算日数	硬度 (lbs)	糖度 (Brix%)	デンプン 指数	カラーチャート 指数※
さんさ	115日	13.5～14	13～14	2～3	2～3
つがる	115～125日	13～14	12～14	3～3.5	2～3
きおう	115～125日	13～14	13以上	2～3	2.5～3.5

※:さんさ、つがるはふじ地色用、きおうはきおう表面色用を使用

(3) 「紅いわて」の収穫について

ア 満開日起算からみた収穫期の目安について

農業研究センターのこれまでのデータから (表3)、満開日起算日数は135～140日程度で果実品質が一定の基準に達するものと考えられます。研究センターにおける今年の満開日は5月17日であり、満開日起算日数から9月29日となりますが、やや高めの気温が続くと予想されることから、収穫期がこれ以上遅れる可能性は少ないと考えられます。実際の収穫判断は、糖度、でんぷん反応指数、食味で判断します。

イ 収穫期の留意事項

「紅いわて」は着色の良い品種であり、9月になると着色が始まります。しかし、着色のみで収穫を判断し、収穫が早すぎると食味が劣り、品種の評価を落とすこととなりますので、満開日起算日数を目安に食味を確認し総合的に判断してください。「紅いわて」の収穫適期については、現在も農業研究センターで試験中です。最新情報に留意し、適期収穫に努めてください。

表3 「紅いわて」の年次別果実品質 (高接ぎ)

(岩手農研)

年次	満開日 (月日)	収穫日 (月日)	満開日 起算日数	果重 (g)	硬度 (lbs)	糖度 (Brix%)	酸度 (g/100ml)
2012	5月8日	9月19日	134	307	14.4	13.8	0.31
2011	5月16日	9月30日	137	282	12.6	14.4	0.32
2010	5月14日	10月1日	140	283	14.0	13.8	0.28
2009	5月6日	9月18日	135	292	13.0	13.4	0.34
2008	5月2日	9月22日	143	248	16.8	13.3	0.36
2007	5月11日	9月28日	140	261	16.3	15.1	0.36
2006	5月15日	9月28日	136	242	15.0	14.8	0.32
2005	5月14日	10月4日	143	275	13.5	14.0	0.34
2004	5月6日	9月17日	134	280	13.5	14.0	0.40
2003	5月7日	9月28日	144	243	16.6	15.1	0.34
平均	5月10日	9月26日	139	267	14.6	14.2	0.34

3 病虫害防除および気象災害対策

(1) 病虫害防除

今後の気象条件によって、斑点落葉病や褐斑病、ハダニ類等が発生することがあります。予察情報等を参考にして、必要な防除を実施しましょう。農薬を使用するに当たっては、使用基準（倍率、収穫前日数等）に十分注意してください。

(2) 台風対策

これから、台風が多く発生する時期になります。強風で倒木が発生しないよう、防風ネットの設置、支柱との結束を確認してください。また、気象情報に注意し、台風の接近前に収穫を進めるなど、被害を最小限にできるよう対策を講じてください。

(3) 湿害対策

台風に伴う大雨や秋の長雨など、園地内が過湿となった場合、裂果や根部の障害による樹勢衰弱の要因となります。園地内に水が停滞しないよう、溝を掘るなど排水対策を講じましょう。

(4) 日焼け果

今後も気温が高く推移する見込みのため、日焼け果の発生が懸念されます。前号で原因と対策について記載していますので参照ください。

ぶどう

1 生育状況

8月15日時点の定点調査地点における「キャンベル」の果実品質は、果実肥大、糖度は平年より高くなっています(表4)。また、着色も平年より早い状況です。「紅伊豆」の着色は遅れていますが、果実肥大は良好です。しかし、一部に裂果も見られています。

収穫時期は、糖度や酸抜けなどの果実品質を十分に確認してから行いましょう。

2 管理の要点

(1) 収穫

収穫は着色、糖度などの食味に留意しながら、表5の品種ごとの基準糖度に達してから行います。過熟になると商品価値が落ちるので、適期収穫に努めましょう。

早生品種や栽培法によっては、すでに収穫期に入っているものもあると思われますが、収穫に当たっては、農薬安全使用基準の収穫前日数には十分に注意してください。

収穫は、果実温度が低い早朝から午前中に行います。降雨後は、糖度も下がり、輸送中の腐敗も多くなるので避けるようにしましょう。

選果・調整は、果粉を落とさないように穂柄を持ち、未熟果、腐敗果、裂果等を除き、出荷形態に即して房形を整え出荷しましょう。

(2) 裂果対策

収穫直前の急激な土壌水分変化は、裂果の発生を助長します。土壌が乾燥し過ぎないように、こまめな雑草の刈り取り、樹冠下に敷きワラ等でマルチするなどの対策を実施します。また、降雨があった場合には、過剰な水分を早期に排水できるよう、根域の周辺にビニール等を敷く、溝掘り(明渠)するなどの対策を実施しましょう。

「紅伊豆」などの雨よけハウス栽培では、温度が高くなりやすいハウス中央部などで果実の着色不良や果肉の軟化が、裂果や脱粒を引き起こすことがあります。気温が高くなると予想される日は、サイドのビニールを巻き上げる、換気扇を利用する等温度が上がりすぎないように努めます。

表4 ぶどう(キャンベルアーリー)の生育状況(定点調査地点:紫波町赤沢)

	8月15日現在				
	新梢長(cm)	節数(葉数)	房長(cm)	果径(mm)	糖度(%)
本年(H25)	101.1	13.4	16.1	19.9	10.0
前年(H24)	115.7	15.2	15.3	19.8	9.5
平年	136.3	17.6	15.5	18.8	8.2
平年比	74%	76%	104%	106%	122%
前年比	87%	88%	105%	101%	105%

表5 品種別収穫時期の目安

品種	基準糖度	房の状態	備考
キャンベル	14%以上	房全体が黒紫色	
デラウエア	18%以上	着色完了2~3日後	酸抜けが遅い、食味重視
紅伊豆	18%以上	房全体が鮮紅色	過熟果は軟化や脱粒が多い
ハニーブラック	20%	房全体が紫黒色	脱粒少ない
サニールージュ	18%	房全体が紫赤色	脱粒少ない